

別紙様式第1

番 号
令和3年 5月31日

厚生労働大臣 殿

所在地 東京都千代田区
飯田橋1-8-9
ニューシティ飯田橋402
法人等名 特定非営利活動法人
しんぐるまざあず・ふぉーらむ
代表者名 赤石千衣子

令和3年度ひとり親家庭等自立促進基盤事業費
補助金の交付申請について

標記について、次のとおり国庫補助金を交付されるよう関係書類を添えて申請する。

- 1 申請金額 金 2,986,000円
- 2 団体概要（別紙1）
- 3 事業計画（別紙2）
- 4 所要額調書（別紙3）
- 5 所要額内訳書（別紙4）
- 6 事業実施スケジュール表（別紙5）
- 7 添付書類
 - (1) 定款
 - (2) 歳入歳出予算（見込）書抄本
 - (3) その他参考となる書類

団 体 概 要

団 体 名 (法人の種類)	特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ	代表者名	赤石 千衣子																								
		担当者	氏名 XXXXXXXXXX T E L 03-3263-1519 F A X 03-3239-6590 E-mail info@single-mama.com																								
住 所	〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-8-9 ニューシティハイツ飯田橋 402																										
代表電話番号	03-3263-1519																										
法人設立年月日	(元号) 14 年 10 月 17 日																										
概 要	<p>理事長 赤石千衣子</p> <p>理事</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>役職</th><th>氏名</th><th>報酬の有無</th><th>(兼職の場合) 職業</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理事長</td><td>赤石千衣子</td><td>有</td><td>自営業</td></tr> <tr> <td>理事</td><td>丸山 裕代</td><td>無</td><td>会社員</td></tr> <tr> <td>理事</td><td>安藤 ゆか</td><td>無</td><td>会社員</td></tr> <tr> <td>理事</td><td>金澄 道子</td><td>無</td><td>弁護士</td></tr> <tr> <td>理事</td><td>葛西 リサ</td><td>無</td><td>追手門学院大学准教授</td></tr> </tbody> </table> <p>スタッフ 15 人</p> <p>メールマガジン会員数 約 4 2 0 0 人</p>			役職	氏名	報酬の有無	(兼職の場合) 職業	理事長	赤石千衣子	有	自営業	理事	丸山 裕代	無	会社員	理事	安藤 ゆか	無	会社員	理事	金澄 道子	無	弁護士	理事	葛西 リサ	無	追手門学院大学准教授
役職	氏名	報酬の有無	(兼職の場合) 職業																								
理事長	赤石千衣子	有	自営業																								
理事	丸山 裕代	無	会社員																								
理事	安藤 ゆか	無	会社員																								
理事	金澄 道子	無	弁護士																								
理事	葛西 リサ	無	追手門学院大学准教授																								
活 動 内 容	<p>2018 年 10 月 15 日 認定 NPO 法人取得</p> <p>1980 年～2002 年まで シングルマザー当事者団体（任意団体として）自助・出版・広報・政策提言活動）</p> <p>1993 年 『母子家庭にカンパイ！』出版</p> <p>2002 年から 特定非営利活動法人として、調査研究・自助・出版・広報・政策提言活動多数</p> <p>2003 年 母子家庭の就労と生活に関する調査実施（独立行政法人福祉医療機構）</p> <p>2005 年 母子家庭の母の就労・生活の安定へむけた調査研究及び支援事業（独立行政法人福祉医療機構子育て支援基金助成金）</p>																										

- 2007 年 母子家庭の暮らし・子育て支援事業（福祉医療機構子育て支援基金助成金）
- 2008 年 「シングルマザーのあなたに 暮らしを乗り切る 53 の方法」 現代書館より出版
- 2009 年 母子家庭の教育調査及び就労・子育て支援事業（福祉医療機構子育て支援基金助成金） 連合 雇用と就労・自立支援助成事業
- 2010 年 母子家庭の暮らし・就労支援事業（独立行政法人福祉医療機構子育て支援基金助成金）
女性の暮らし安心年越しホットライン（パルシステム東京民間活動助成事業）
- 2011 年 震災で困っているシングルマザー＆女性の安心ホットライン【パープル・ホットライン】（国際協力 NGO オックスファムジャパンの協力による事業）
女性の暮らし安心年越しホットライン・女性支援相談員のキャリアアップセミナー
- 2012 年 4 月から学習支援の居場所「L S C L U B」開設
被災シングルマザーのパーソナルサポート事業と被災シングルマザー聞き取り事業
ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会からの寄附によるシングルマザーサポーター養成講座（東京、岩手）
千葉県母子寡婦福祉会の連続セミナー企画と実施、相談事業補助
- 2013 年 キッズドアとの共催で教育費準備セミナーと冊子作成
ひとり親の子どもたちの野外活動支援オレンジフラッグとの協働
- 2015 年 ひとり親家庭等自立促進基盤事業（厚労省）にてひとり親支援員養成講座を全国 3 カ所で開催 セミナー事業も開催
シングルマザーフェスタを開催 「子どもの教育費、どうする？教育費サバイバル準備読本」発行 電話・メール相談・グループ相談会開催 食料支援（米を年間 2000 キロ以上、食料パッケージをのべ 250 世帯ほか）
- 2016 年度 ひとり親家庭等自立促進基盤事業（厚労省）にてひとり親支援員養成講座を全国 3 カ所、ひとり親向けセミナーを 7 回開催
- 2017 年度・就労支援事業 シングルマザーキャリア支援プログラム「未来への扉」
・相談事業 電話相談 グループ相談会 食の支援 個別支援
・セミナー事業 ひとり親サポーター養成研修

	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 ひとり親新聞 Smoms 発行 『シングルマザー365 日サポートブック』作成 (2000 部) ・親子支援 入学お祝い金事業 365 人に送金
2018 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援事業 シングルマザーキャリア支援プログラム「未来への扉」 ・相談事業 電話相談 グループ相談会 食の支援 (約 1500 世帯) 個別支援 ・セミナー事業 ひとり親サポーター養成研修 ・情報発信 ひとり親新聞 Smoms 発行 『シングルマザー365 日サポートブック』作成 (2000 部) ・親子支援 入学お祝い金事業 794 人に送金
2019 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援事業 シングルマザーキャリア支援プログラム「未来への扉」「明日に花咲く」 ・相談事業 電話相談 グループ相談会 食の支援 (約 2830 世帯) 個別支援 ・セミナー事業 ひとり親サポーター養成研修 ・情報発信 ひとり親新聞 Smoms 発行 12 万部 ・教育費サポートブック発行 5000 冊 ・親子支援 入学お祝い金事業 437 人に送金
2020 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援事業 シングルマザーキャリア支援プログラム「未来への扉」「明日に花咲く」「わたし輝く」「まなびアシスト」 ・相談事業 電話相談 930 件 メール相談 1670 件 グループ相談会 (埼玉県など委託事業参加者 123 人、団体主催オンラインママカフェ 25 回 206 人) 食の支援 (のべ約 2 万 6 千世帯) 個別支援 ・セミナー事業 ひとり親サポーター養成研修 (支援者向け) ライフプランセミナー・教育費セミナーなど (当事者向け) ・情報発信 ひとり親情報サイト「イーヨ」 ・教育費サポートブック発行 5000 冊 ・親子支援 入学お祝い金事業 1155 人に送金
協力団体・連携団体・寄付団体 (2020 年度)	
認定 N P O 法人セカンドハーベストジャパン	
認定 N P O 法人おてらおやつクラブ	
フードバンクいたばし	
日本ロレアル株式会社	
アデコ株式会社	

株式会社ファーストウオーク
株式会社東京スター銀行
大和証券グループ本社
株式会社ジョイフルライフ
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
日本労働組合総連合会
公益財団法人主婦会館
株式会社カタログハウス
株式会社東京海上日動キャリアサービス
株式会社カプコン
NPO法人ETIC
子どもの貧困対策センターあすのば
野外活動支援団体オレンジフラッグ
認定NPO法人夢職人
特定非営利活動法人キッズドア
東京都世田谷区立男女共同参画センター
埼玉県
神奈川県横浜市 保土ヶ谷区
神奈川県茅ヶ崎市
東京都江戸川区
東京都足立区
東京都武蔵野市
千葉県千葉市
愛知県豊橋市
兵庫県明石市
しんぐるまざあず・ふぉーらむ北海道
特定非営利活動法人 インクルいわて
シングルマザーほっこりさろん
特定非営利活動法人STORIA
特定非営利活動法人せんだいこども食堂
クローバーの会@やまがた
特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福島
よこすかひとり親サポーターズ・ひまわり
立川市ひとり親家庭福祉会・立川未来
女性の社会生活活動部 フルード
特定非営利活動法人えがおプロジェクト

	<p>仕事工房ポポロ「シングルペアレントの会」 シングルペアレント101（ワンオーワン） NPO法人太陽の家 シングルマザーとその子どもたちの会～freely～ NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ シングルマザーのつながるネット まえむき IPP0 NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西 ひとり親パートナーズ 認定特定非営利活動法人ハーモニーネット未来 ・style（ドットスタイル） NPO法人こどもステーション しんぐるまざー交流会 あまやどり シングルマザー交流会松山 しんぐるまざあず・ふぉーらむ出雲 NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福岡 しんぐるまざあず・ふぉーらむ沖縄</p>
--	--

事業計画

団体名	代 表 者 名
特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ	赤石 千衣子

①事業名	①ひとり親家庭支援団体全国大会開催 ②ひとり親家庭の支援者養成研修会 ③ひとり親向け自立支援(就労、生活、子育て)研修 ④離婚前後の親支援プログラム
②事業実施目的	①ひとり親家庭支援団体全国大会開催により、支援団体の連携強化と支援団体基盤整備。 ②多様な現場におけるひとり親家庭の支援者の養成研修を行い、ひとり親家庭の支援者の質の向上とネットワークの形成を行う。 ③ひとり親家庭の自立支援研修により、現在より複合的になっている、困難を抱えているひとり親の自立支援を行う。 ④離婚前後の親に対し情報提供を行うことで、適切な社会サービスや当事者間の取り決めに促進し、子どもの生活の安定につなげる。
③事業内容	①ひとり親家庭支援団体全国大会開催 7月17日～18日、静岡市女性会館で開催。団体相互の研修と実践報告、政策提言。 ②ひとり親家庭の支援者養成研修会 ・東京で実施予定。全国から参加予定。2回開催(9月、1月) ・1回の研修は2日間で6コマ(ひとり親家庭の現状、ひとり親家庭の自立支援と就労・教育費支援、ひとり親家庭とDV被害、ひとり親家庭の子どもの支援、ひとり親家庭の精神的な問題と支援、ひとり親家庭支援と法律知識を各方面の専門知識のある講師が担当)とひとり親家庭の体験発表(2人)。 ・フォローアップ研修で就労支援、相談対応の実際などを実施予定 ・参加対象：民間居場所事業支援者、男女共同参画センター相談員、母子父子自立支援員、子育て支援担当者、公民館職員、民間子育て支援事業者、母子家庭等就業自立支援センター相談員ほか。子ど

	<p>もの貧困対策、生活困窮者自立支援法の受託者、教育関係者等より幅広い分野でひとり親家庭を支援することになる人材が対象である。1回の参加人数 60人～80人を予定。</p> <p>③ひとり親家庭の自立支援研修 ひとり親家庭を対象とした、教育費の講座、ライフプランセミナー、法律講座等を実施。</p> <p>④離婚前後の親支援プログラム 離婚前後の親を対象にしたプログラムを構築し、受講者20名程度を募ってオンラインにて開催する。</p>
④実施体制	<p>①ひとり親家庭支援団体全国大会： ・7月17日～18日、静岡市女性会館で開催。オンライン参加併用とする。 ・運営はしんぐるまざあず・ふぉーらむ非常勤スタッフが行う。</p> <p>②ひとり親家庭の支援者養成研修会は、2日間の研修会を2回開催し、うち1回は対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド形式で主婦会館に会場を借りる予定である。もう1回はオンライン開催とする予定である。ただしコロナ感染の状況によりオンラインで2回することも検討する。 ・実施にあたっては当団体のスタッフが運営を行う。当日と準備には事務局スタッフとアルバイトを雇う。広報は関連部署への郵送とwebサイトおよびSNSによる広報と申込みを行う。</p> <p>③ひとり親家庭の自立支援研修については内部講師、外部講師を依頼、事務局とアルバイトが準備を担い、当日はアルバイトを雇う。コロナ感染の状況から、オンライン開催となることもある。</p> <p>④離婚前後の親支援プログラムは専門家の助言や連携団体の協力を得てプログラム構築、試行的にオンラインにて2日間のプログラムを2回実施する。</p>

<p>⑤事業を実施することにより期待される効果</p>	<p>①ひとり親家庭支援団体全国大会については、支援団体間は通常よりオンラインミーティングで情報交換を行っているが、相互に顔を合わせて支援団体がよりよく、またより多くのひとり親支援を行うための連携と情報交換、資源の取得と活用、人材の活用など基盤整備につなげる。全国の20団体が参加することで各団体の活動がより充実し、各地でシングルマザーが支援や相談を受けられるようになる。／</p> <p>②支援員養成研修については、ひとり親家庭の現状を的確に把握し、当事者の声をきく、より質の高い支援者の養成を行うことができる。生活困窮者自立支援、子どもの貧困対策にかかわる官民の人材が、より子どもとひとり親の支援を包括的に行えるようになることが現在求められている。150人の支援者が養成されることによって、一人が20人のひとり親を支援するとすれば、3000人以上の困難なひとり親家庭の支援の質が向上する。</p> <p>③ひとり親向け自立支援研修については、この研修によりエンパワーし、就職や暮らしのマネジメントができるようになる。また子育てに迷いや困難を感じている人への講座を開催し、子育て支援を行う。ステップに合わせたエンパワーができるように支援を行う。こうした講座がモデルとなって自治体等にも波及することも期待する。各回参加者40人を定員とする。／</p> <p>④離婚前後の親支援プログラムについては、困難を抱える離婚前後の時期に、離婚を迷う当事者が必要な情報を得ることによって、適切な社会サービスの利用に結び付くことができる。また当事者間の葛藤を減少し、円滑に取り決めるを行うことを促す。環境変化にともなう子どもの精神的なストレスを最小限にとどめ、経済的な安定を実現することができる。</p> <p>令和3年度は試行的にオンラインで実施し、今後このプログラムが自治体等で実施されるために必要な条件整備をおこなう。／</p>
-----------------------------	--

別紙3

所 要 額 調 書

区分	総事業費 A	寄付金その他の 収入額 B	差引額 A-B=C	対象経費の 支出予定額 D	基準額 E	選定額 (D、Eのいずれか 少ない額) F	国庫補助基本額 (C、Fのいずれか 少ない額) G	国庫補助所要額 (Gと同額) H
ひとり親家庭等 自立促進基盤事 業	3,286,590	300,000	2,986,590	2,986,590	3,000,000	2,986,590	2,986,590	2,986,000

別紙 4

所要額内訳書

団体名
特定非営利活動法人しんぐるまざあ ずふおーらむ
事業名
①ひとり親家庭支援団体全国大会開催

経費区分	対象経費の 支出予定額	積算内訳
賃金	80,000	当日スタッフ人件費 XXXXXXXXXX = 80,000円
諸謝金	107,600	講師謝金 30,000円 × 3人 = 90,000円 託児謝金 2,200円 × 8時間 × 1人 = 17,600円
旅費	200,000	旅費交通費 10,000円 × 20 = 200,000円
消耗品費	7,040	コピー用紙代 500円 × 1.1 = 550円 ボールペン 100円 × 10本 × 1.1 = 1,100円 ガムテープ 500円 × 3 × 1.1 = 1,650円 セロハンテープ 200円 × 2 × 1.1 = 440円 マジック 200円 × 5本 × 1.1 = 1,100円 封筒 20円 × 100 × 1.1 = 2,200円
会議費	3,300	茶菓代 3,000 × 1.1 = 3,300円
印刷製本費	33,000	資料 12円 × 50頁 × 50部 × 1.1 = 33,000円
雑役務費	33,000	web構築費 SNS 関係費 30,000円 × 1.1 = 33,000円
通信運搬費	7,480	宅急便 1,700 × 2箱 × 2 × 1.1 = 7,480円
借料及び損料	24,000	静岡市女性会館を予定 12,000 × 2日 = 24,000円
合 計	495,420 円	①

$$\text{①} \sim \text{④} = 2,986,590$$

別紙 4

所要額内訳書

団体名
特定非営利活動法人しんぐるまざあ ずふおーらむ
事業名
②ひとり親家庭支援者養成研修会✓ (ハイブリッド・オンライン各1回)

経費区分	対象経費の 支出予定額	積 算 内 訳
賃金 //	277,600	当日スタッフ人件費 [REDACTED] = 160,000円 / 準備スタッフ賃金 [REDACTED] = 117,600円 /
諸謝金 //	502,800	講師料 30,000円 × 7人 × 2回 = 420,000円 / 当事者発言 7,500円 × 2人 × 2回 = 30,000円 / 託児謝金 2,200円 × 8時間 × 1.5人 × 2日 = 52,800円 /
消耗品費 //	7,040	コピー用紙代 500円 × 1.1 = 550円 / ボールペン 100円 × 10本 × 1.1 = 1,100円 / ガムテープ 500円 × 3 × 1.1 = 1,650円 / セロハンテープ 200円 × 2 × 1.1 = 440円 / マジック 200円 × 5本 × 1.1 = 1,100円 / 封筒 20円 × 100 × 1.1 = 2,200円 /
会議費 //	8,800	茶菓代 4,000 × 2回 × 1.1 = 8,800円 /
印刷製本費 //	219,120	チラシ 12円 × 2,000 × 2回 × 1.1 = 52,800円 / 資料 12円 × 70頁 × 90部 × 2回 × 1.1 = 166,320円 /
雑役務費 //	66,000	web構築費 SNS 関係費 30,000円 × 2回 × 1.1 = 66,000円 /
通信運搬費 //	106,440	宅急便 1,700 × 3箱 × 2回 (往復) × 2回 × 1.1 = 22,440円 / 広報通信費 84円 × 500 × 2回 = 84,000円 /
借料及び損料 //	0	会場費 (300,000円予定) は受講者参加費から支出予定
合 計	1,187,800円	(B)

別紙 4

所要額内訳書

		団体名
		特定非営利活動法人しんぐるま ざあずふおーらむ
		事業名
		③ひとり親向け自立支援研修 (3回)
経費区分	対象経費の 支出予定額	積 算 内 訳
賃金	105,600	当日スタッフ人件費 XXXXXXXXXX = 30,000円 準備スタッフ人件費 XXXXXXXXXX = 75,600円
諸謝金	129,600	講師料30,000円×3人=90,000円 託児スタッフ2,200円×3時間×2人×3回= 39,600円
消耗品費	5,940	コピー用紙代500円×1.1=550円 ボールペン100円×10本×1.1=1,100円 ガムテープ500円×3×1.1=1,650円 セロハンテープ200円×2×1.1=440円 マジック200円×5本×1.1=1,100円 封筒20円×50×1.1=1,100円
会議費	3,300	茶菓代 1,000×3×1.1=3,300円
印刷製本費	18,480	チラシ 12円×500×1.1=6,600円 資料 12円×10頁×30×3×1.1=11,880円
雑役務費	33,000	web構築費SNS 30,000円×1.1=33,000円
通信運搬費	9,810	1,700円×1箱×3回×1.1=5,610円 チラシ郵送費84円×50カ所=4,200円
借料及び損料	24,000	8,000×3回=24,000
合 計	329,730円	(C)

別紙 4

所要額内訳書

団体名
特定非営利活動法人しんぐるま ざあずふおーらむ
事業名
④離婚前後の親支援プログラム

経費区分	対象経費の 支出予定額	積 算 内 訳
賃金	312,000	当日スタッフ人件費 XXXXXXXXXX =60,000円 準備スタッフ賃金 XXXXXXXXXX =252,000円
諸謝金	430,000	プログラム構築アドバイザー謝礼 30,000×5人=150,000 講師料 30,000円×4人×2回=240,000円 当事者発言（親の離婚を経験した成人など、打合せ・原稿作成含む） 10,000×2人×2回=40,000
消耗品費	7,040	コピー用紙代 500円×1.1=550円 ボールペン 100円×10本×1.1=1,100円 ガムテープ 500円×3×1.1=1,650円 セロハンテープ 200円×2×1.1=440円 マジック 200円×5本×1.1=1,100円 封筒 20円×100×1.1=2,200円
雑役務費	176,000	web構築費SNS関係費 80,000円×2回×1.1=176,000円
通信運搬費	48,600	資料郵送 250円×30カ所×2回=15,000 広報通信費 84円×200×2回=33,600円 -
合 計	973,640円	④

事業実施スケジュール表

実施時期・期間	実施内容
令和3年4月	ひとり親家庭支援団体全国大会開催準備開始 ひとり親向け自立支援研修企画準備開始 離婚前後の親支援講座企画準備・資料作成開始
5月	ひとり親家庭支援員養成研修会準備開始
6月	離婚前後の親支援プログラム①開催
7月	ひとり親向け自立支援研修①開催
8月	ひとり親向け自立支援研修②開催
9月	ひとり親家庭支援員養成研修会①（オンライン）開催
10月	
11月	ひとり親向け自立支援研修③開催
12月	
令和4年1月	ひとり親家庭支援員養成研修会（ハイブリッド）開催
2月	離婚前後の親支援プログラム②開催
3月	

歳入歳出予算（見込抄本）
（令和3年度ひとり親家庭等自立促進基盤事業費補助金）

収入の部

科 目	予 算 額	摘 要
補 助 金 収 入	2,986,000 円	
参 加 費 収 入	300,000 円	
そのほか収入	590 円	
収 入 計	3,286,590 円	

支出の部

科 目	予 算 額	摘 要
賃金	775,200	当日スタッフ賃金ほか
諸謝金	1,170,000	講師謝金、託児料
委託料	0	
旅費	200,000	旅費
消耗品費	27,060	文房具ほか
燃料費	0	ガソリン代
会議費	15,400	茶菓代ほか
印刷製本費	270,600	資料・チラシ印刷製本費
雑役務費	308,000	HP構築費ほか
通信運搬費	172,330	宅配料・郵送費
賃料及び損料	348,000	会場費機材費
支 出 計	3,286,590	

本抄本は、原本と相違ないことを証明します。

令和 3 年 5 月 31 日

特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ

東京都千代田区飯田橋 1-8-9
ニューシティハイツ飯田橋 402
理事長 赤石千衣子

特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ 定款

第 1 章 総 則

(名称)

第 1 条 この法人は、特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむという。

(事務所)

第 2 条 この法人は、事務所を東京都千代田区に置く。

第 2 章 目的及び事業

(目的)

第 3 条 この法人は、主としてひとり親家庭の母並びに子どもに対する市民の自主的な支援活動を通じて就労支援、相談、講演会、講座、セミナーの企画、運営、相互支援・交流に関する事業を行い、もって、全ての市民が自らの意思で主体的に生活し、生きがいに満ちた、活力に富んだ人生を送れる社会の実現に寄与することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) 社会教育の推進を図る活動
- (3) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- (4) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- (5) 子どもの健全育成を図る活動
- (6) 以上の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

(事業)

第 5 条 この法人は、第 3 条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として次の事業を行う。

- ① 主としてひとり親の母の就労支援事業
- ② 主としてひとり親の母からの相談事業
- ③ 主としてひとり親の母に関する講演会、講座、セミナーの企画、運営事業
- ④ 主としてひとり親の母に関する出版事業
- ⑤ 主としてひとり親の母の子育て支援事業

第3章 会 員

(種別)

第6条 この法人の会員は、次の3種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下「法」という。）上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同し入会した個人で、議決権を有する者
- (2) 一般会員 この法人の目的に賛同し入会した個人で議決権を有さない者
- (3) 賛助会員 この法人の目的に賛同し、活動資金の協力を行う個人および法人

(入会)

第7条 会員として入会しようとするものは、その旨を記載した入会申込書を 理事長に提出するものとする。

- 2 理事長は、入会申込者が本会の目的に賛同し、活動及び事業に協力できる者と認めるときは、正当な理由がない限り入会を承認しなければならない。
- 3 理事長は、前項のものの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって、本人にその旨を通知しなければならない。

(入会金及び会費)

第8条 会員は、総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(会員の資格の喪失)

第9条 会員が次の各号の一に該当するときは、その資格を喪失する。

- (1) 退会届の提出をしたとき。
- (2) 本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき。
- (3) 正当な理由なく会費を滞納し、催告を受けてもそれに応じず、納入しないとき。
- (4) 除名されたとき。

(退会)

第10条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第11条 会員が次の各号の一に該当するときは、総会の議決により、これを除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) この定款等に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(入会金及び会費の不返還)

第12条 既納の入会金、会費は、返還しない。

第4章 役員及び職員

(種別及び定数)

第13条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 3人以上10人以内
 - (2) 監事 1人以上2人以内
- 2 理事のうち、1人を理事長、1人以上を副理事長とすることができる。

(選任等)

第14条 理事及び監事は、総会において正会員の中から選任する。

- 2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。
- 3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。
- 4 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。

(職務)

第15条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

- 2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるとき又は理事長が欠けたときは、理事長が予め指名した順序に従い、その職務を代行する。
- 3 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。
- 4 監事は、次に掲げる職務を行う。
 - (1) 理事の業務執行の状況を監査すること。

- (2) この法人の財産の状況を監査すること。
- (3) 前 2 号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は、所轄庁に報告すること。
- (4) 前号の報告をするため必要がある場合には、総会を招集すること。
- (5) 理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べ、若しくは理事若しくは理事会の招集を請求すること。

(任期等)

第 16 条 役員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前項の規定にかかわらず、任期満了前に、総会において後任の役員が選任された場合には、当該総会が終結するまでを任期とし、また、任期満了後後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が終結するまでその任期を伸長する。
- 3 補欠のため、又は増員によって就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。
- 4 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(欠員補充)

第 17 条 理事又は監事のうち、その定数の 3 分の 1 を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

第 18 条 役員が次の各号の一に該当するときは、総会の議決により、これを解任することができる。この場合、その役員に対し、議決する前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 心身の故障のため、職務の遂行に堪えないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

(報酬等)

第 19 条 役員は、その総数の 3 分の 1 以下の範囲内で報酬を受けることができる。

- 2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。
- 3 前 2 項に関して必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(事務局及び職員)

第 20 条 この法人に、事務を処理するため事務局を設け、事務局長及び必要な職員を置く。

- 2 事務局長は、理事会の議決を経て理事長が委嘱し、職員は理事長が任免する。
- 3 事務局の組織及び運営に関する必要な事項は、理事会の議決を経て理事長が別に定める。

第5章 総 会

(総会の種別)

第21条 この法人の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。

(総会の構成)

第22条 総会は、正会員をもって構成する。

(総会の権能)

第23条 総会は、以下の事項について議決する。

- (1) 定款の変更
- (2) 解散
- (3) 合併
- (4) 会員の除名
- (5) 事業計画及び活動予算並びにその変更
- (6) 事業報告及び活動決算
- (7) 役員の選任又は解任、職務及び報酬
- (8) 入会金及び会費の額
- (9) 資産の管理の方法
- (10) 解散における残余財産の帰属
- (11) その他運営に関する重要事項

(総会の開催)

第24条 通常総会は、毎年1回開催する。

2 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。
- (2) 正会員総数の5分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面又は電磁的記録をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第15条第4項第4号の規定により、監事から招集があったとき。

(総会の招集)

第25条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。

- 2 理事長は、前条第2項第1号及び第2号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。
- 3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的記録をもって、遅くとも7日前までに通知しなければならない。

(総会の議長)

第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(総会の定足数)

第27条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(総会の議決)

- 第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。ただし、議事が緊急を要するもので、出席した正会員の3分の2以上の同意があった場合は、この限りではない。
- 2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
 - 3 理事又は正会員が総会の目的である事項について提案した場合において、正会員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の総会の決議があったものとみなす。

(総会での表決権等)

- 第29条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。
- 2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面又は電磁的記録をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。
 - 3 前項の規定により表決した正会員は、前2条及び次条第1項の適用については、総会に出席したものとみなす。
 - 4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議事の議決に加わることはできない。

(総会の議事録)

第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 正会員総数及び出席者数（書面又は電磁的記録による表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。）

- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。

3 前2項の規定に関わらず、正会員全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたことにより、総会の決議があったとみなされた場合においては、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 総会の決議があったものとみなされた事項の内容
- (2) 前号の事項の提案をした者の氏名又は名称
- (3) 総会の決議があったものとみなされた日
- (4) 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

第6章 理 事 会

(理事会の構成)

第31条 理事会は、理事をもって構成する。

(理事会の権能)

第32条 理事会は、この定款で定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) 借入金（その事業年度内の収入をもって償還する短期借入金を除く。
第47条において同じ。）その他新たな義務の負担及び権利の放棄
- (4) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

(理事会の開催)

第33条 理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めたとき。
- (2) 理事総数の3分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面又は電磁的記録をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第15条第4項第5号の規定により、監事から招集の請求があったとき。

(理事会の招集)

第34条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長は、前条第2号及び第3号の規定による請求があったときは、その日から15日以内に理事会を招集しなければならない。

3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的記録をもって、遅くとも7日前までに通知しなければならない。

(理事会の議長)

第35条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

(理事会の議決)

第36条 理事会における議決事項は、第34条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。ただし、議事が緊急を要するもので、出席した理事の3分の1以上の同意があった場合は、この限りではない。

2 理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(理事会の表決権等)

第37条 各理事の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面又は電磁的記録をもって表決することができる。

3 前項の規定により表決した理事は、前条及び次条第1項の適用については、理事会に出席したものとみなす。

4 理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

(理事会の議事録)

第38条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名（書面表決者にあつては、その旨を付記すること。）
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。

第7章 資産及び会計

(資産の構成)

第39条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された資産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 寄付金品
- (4) 財産から生じる収益
- (5) 事業に伴う収益
- (6) その他の収益

(資産の管理)

第40条 この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(会計の区分)

第41条 この法人の会計は、特定非営利活動に係る事業に関する会計とする。

(事業計画及び予算)

第42条 この法人の事業計画及びこれに伴う予算は、理事長が管理し、その方法は総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(暫定予算)

第43条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収益費用を講じることができる。

2 前項の収益費用は、新たに成立した予算の収益費用とみなす。

(予算の追加及び更正)

第44条 予算作成後にやむを得ない事由が生じたときは、総会の議決を経て、既定予算の追加又は更正をすることができる。

(事業報告及び決算)

第45条 この法人の事業報告書、活動計算書、貸借対照表及び財産目録等の決算に関する書

類は、毎事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。

2 決算上剰余金を生じたときは、次事業年度に繰り越すものとする。

(事業年度)

第46条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(臨機の措置)

第47条 予算をもって定めるもののほか、借入金の借り入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事会の議決を経なければならない。

第8章 定款の変更、解散及び合併

(定款の変更)

第48条

この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の4分の3以上の多数による議決を経、かつ、法第25条第3項に規定する事項については、所轄庁の認証を得なければならない。

2 この法人の定款を変更（前項の規定により所轄庁の認証を得なければならない事項を除く。）したときは、所轄庁に届け出なければならない。

(解散)

第49条 この法人は、次に掲げる事由により解散する。

- (1) 総会の決議
- (2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
- (3) 正会員の欠亡
- (4) 合併
- (5) 破産手続開始の決定
- (6) 所轄庁による設立の認証の取消し

2 前項第1号の事由によりこの法人が解散するときは、正会員総数の4分の3以上の承諾を得なければならない。

3 第1項第2号の事由により解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第50条 この法人が解散（合併又は破産手続開始の決定による解散を除く。）したときに残

存する財産は、総会において出席した正会員の過半数をもって決した特定非営利活動法人、公益社団法人又は公益財団法人に寄付するものとする。

(合併)

第 51 条 この法人が合併しようとするときは、総会において正会員総数の 4 分の 3 以上の議決を経、かつ、所轄庁の認証を得なければならない。

第 9 章 公告の方法

(公告の方法)

第 52 条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載してこれを行う。

ただし、法第 28 条の 2 第 1 項に規定する貸借対照表の公告については、この法人のホームページにおいて行う。

第 10 章 雑 則

(細則)

第 53 条 この定款の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て、理事長がこれを定める。

附 則

1. この定款は、この法人の成立の日から施行する。
2. この法人の設立当初の役員は、次に掲げる者とする。

理 事 長	野中 郁子
副理事長	竹内 三輪
理事	村山 純子
同	大矢 さよ子
同	赤石 千衣子
同	雪下 佳子
同	山本 昭代
同	市川 真紀
同	高木 由夏

同	内田 ちえ子
監 事	井口 みどり
同	今出 裕子

3. この法人の設立当初の役員の任期は、第 16 条第 1 項の規定にかかわらず、成立の日から平成 16 年 6 月 30 日までとする。
4. この法人の設立当初の事業計画及び収支予算は、第 42 条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによるものとする。
5. この法人の設立当初の事業年度は、第 47 条の規定にかかわらず、成立の日から平成 15 年 3 月 31 日までとする。
6. この法人の設立当初の入会金及び会費は、第 8 条の規定にかかわらず年に次に掲げる額とする。

① 正会員	入会金	1000 円	会費	2000	円
② 一般会員	入会金	1000 円	会費	2000	円
③ 賛助会員	入会金	1000 円	会費一口	5000	円 二口以上

7. この定款は、令和元年 5 月 24 日より施行する。

しんぐるまざあず・ふぉーらむ 活動レポート 2020年3月～10月

コロナ禍に苦しむひとり親の支援は、命の問題。

14000世帯、4万人に食品支援。ご協力に深く感謝いたします。



理事長 赤石千衣子

2020年、3月の一斉休校以来、新型コロナの影響でひとり親家庭の窮迫が深刻です。しんぐるまざあず・ふぉーらむでは、3月には先駆けてアンケート調査を行うとともに、1100世帯へのお米支援を行いました。その後も「お米があと2合しかありません」「休業から解雇、仕事が見つからない。食べ物も服も買えません」などといった相談が急増し、4月～5月で400件以上のメール・電話相談が寄せられました。継続的な支援が必要と考え、「だいたいぶだよ!プロジェクト」を立

ち上げ、定期的な食料支援、アンケートを続けており、11月末時点での食料支援は、のべ14000世帯・4万人に食品と安心を届けてきました。

また「だいたいぶだよ!基金」を設立し、全国のひとり親支援団体と連携して全国のひとり親世帯への支援を続けています。

コロナ禍に苦しむひとり親家庭には、今後も継続的な支援が必要だと考え、食料支援、就労支援、政策提言に走り続けています。これも皆様のご支援のおかげです。深く感謝いたします。

《受け取られた方からの感想・メッセージ》



★頼る人が誰もおらず1人で全て行う事が当然と思って生活していますが、支援品が手元に届いてお米やクオカードや手荒れクリーム等を拝見し、誰かしら気に留めてこのように生活に必要と思われる物を準備し送ってくださる人々の存在を感じる事が出来て、素直に嬉しいと感じました。コロナ禍で心身とも疲弊しておりますが、今後も自暴自棄にならずもう少し頑張ろうと思います。

★学校が急に休みになり、子どもも食べ盛りのため食費もかさみ、それに加えて下の子の入学準備でお金も出ていき、1日2食で子どもと過ごしておりました。お米が届き休みの間子どもたちにまた、3食食べさせてあげることが出来ます。本当にありがとうございました。

★もうすぐお米もなくなるし、次のお米の特売までは麺類ばかりでお腹をいっぱいにするしかないと思っていました。今回おこめ券をいただけて、特売を待たずに購入することができました。子ども達が大喜びしていたのが本当に嬉しいです。



★自粛で食費や水道光熱費がかさみ、また栄養のあるものとふだん我慢させているフルーツや乳製品、ヤクルトで大赤字で、仕事もなくすんじゃないか、減収してしまったら、数ヶ月もたない、そうしたら心中しないのでは…と先行き不安しかない中、温かいご支援をいただき、心まで救われました。



★コロナで収入が減少し、5日前からお米のない生活をしていたので、本当に助かります。

★高校生の子どもが「お金かかるから」と、朝ごはんを抜くようになってしまいました。今回、お米をお願いして届いたことを伝えるとホッとした様子でした。

★今月は娘の12歳の誕生日。コロナ禍で非正規雇用のシングルマザーにとっては大打撃。生活が一気に苦しくなり、誕生日を祝うどころではないのを感じてか、何も言わない娘を不憫に思っって申し込みしました。パッケージが届くと「これで誕生日を祝ってもらえる」と無邪気に笑う娘を見て涙が出ました。皆様の優しさのお陰で娘の小学校最後の誕生日は、思い出深い記念日になりました。

だいじょうぶだよ!プロジェクト

～シングルマザーの6割が収入減、
11%の人は収入がありません～

日本のひとり親世帯は約140万世帯。コロナ禍で、その2割は困窮している可能性があります。多くのひとり親世帯に「だいじょうぶだよ!」と言ってあげたい。子どもたちにお米や食品と安心を届けたいと思い、「だいじょうぶだよ!プロジェクト」を立ち上げました。「だいじょうぶだよ!プロジェクト」は、新型コロナウイルスの影響で生活状況が悪化したひとり親家庭へ、食料支援、就労支援、相談支援、同行支援など、さまざまなひとり親家庭の困難を解決するために、必要な支援を行っていきます。



だいじょうぶだよ!基金

コロナの影響で困窮するひとり親家庭を継続的に支援するために、「だいじょうぶだよ!基金」を設立しました。

ひとり親家庭支援事業助成に、全国の団体からご応募いただき、第一弾は17団体に助成を決定し、合計846万円を各団体にお送りしました。

食料支援だけでなく、学習支援、交流会やセミナー、養育費のための支援など、幅広いご提案をいただきました。

たくさんのひとり親のみなさんが、身近なところで支援につながれるよう期待しています。

【ご寄付のお願い】「だいじょうぶだよ!基金」

コロナで苦しむひとり親家庭の親子を応援するため、皆様のお力をお貸しください。詳細は4ページへ
※当団体へのご寄付は寄付金控除の対象となります。



14000世帯に食料支援パッケージを送付!

- 【3月】米2kg～5kgを1094世帯に送付
- 【4月】米5kgまたはおこめ券(2200円)を901世帯に送付
- 【5月】米5kg、食品、生活用品の食料パッケージまたはクオカード(3000円)を1282世帯に送付
- 【6月】米5kgと豚またはイカ・野菜の冷凍便を1591世帯に送付
- 【8月】米5kg、クオカード(2000円)、寄贈の生活用品、食品、菓子のパッケージを2000世帯に送付
- 【8-9月】お子さんが2人以上のひとり親722世帯に、アルファ米10kg(100食)を送付
- 【9月】米5kg、クオカード(1000円)、寄贈食品(ドリンク、蒸しパンミックス、ジャム)を2000世帯に送付
- 【10月】米5kgと豚またはイカ・野菜の冷凍便を2120世帯に送付
- 【11月】米5kg、クオカード(2000円)、教育費サポートブックを2137世帯に送付

*このほか、ご相談のあった216世帯に緊急支援パッケージを送付

新型コロナウイルス 深刻化する母子世帯の暮らし調査

新型コロナの影響が増すなか、認定NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむと、ジェンダー平等政策の専門家、研究者らによるシングルマザー調査プロジェクトチームを組み、シングルマザーの就労や生活がどのような影響を受けたのか、実態を明らかにするための調査を行いました。

多くのメディアに紹介され、国会・地方議会で取り上げられ、ひとり親施策に生かされています。

7割に影響 **3割が自主休業**
非正規に打撃 **メンタルヘルスの悪化**
3割 PC なし

就労支援

シングルマザーのための就労支援プログラム

未来への扉

日本ロレアルxしんぐるまざあず・ふぉーらむ

世界最大手の化粧品会社ロレアルグループ日本法人である「日本ロレアル」と提携したキャリア支援プログラム「未来への扉」は、2016年にスタートしました。今年度は、第6期を開講する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で「未来への扉～短期オンライン特別講座～」として実施し、受講生各自が次のステップを歩もうとしています。



明日に花咲く

東京スター銀行xしんぐるまざあず・ふぉーらむ

東京スター銀行と提携したオフィスワークに特化した就労支援プログラム「明日に花咲く」は、第2期を9月より開講し、現在18名の方がオンラインと対面を併用し、受講しております。



親子イベント

新型コロナで、春から夏はずっと野外イベントができませんでした。10月4日には高尾山ハイキングを企画し16組の親子が参加しました。またジョンソン・エンド・ジョンソン様、大和証券様にはキッズニア東京にご招待いただきました。



高尾山頂



キッズニア東京・病院バビリオン内

シングルマザーサポート団体全国協議会

報告会「コロナ禍におけるひとり親支援」開催

全国 23 団体で 2019 年 7 月に発足した「シングルマザーサポート団体全国協議会」は、参加団体が 26 団体に増え、今年 6 月、1 周年記念オンライン報告会「コロナ禍におけるひとり親支援」を開催しました。

この1年間の成果として、「未婚のひとり親への寡婦控除税制の適用拡大について」「児童扶養手当制度の窓口ハラスメントについて」、またコロナ禍での全国各地でコロナに苦しむひとり親家庭支援の現状についてご報告いたしました。

子育て応援サイト

子そだてシングルの応援サイト「イーヨ」リリース

このサイトは、ひとり親のよくある悩みに答えます！「ひとり親家庭のための新型コロナ関連情報」「相談窓口一覧」「支援制度一覧」「体験談」などひとり親にとって本当に必要な情報をまとめた情報を掲載しています。



<https://s-iiyo.com/>



子そだてシングルの
応援サイト

ご支援の お願い

シングルマザーと子どもたちの笑顔としあわせのためにご支援をお願いいたします。私たちの事業はさまざまな団体のご協力、個人や企業からの寄付金によって支えられています。今後、より多くの方に支援の輪を広げるために、どうぞサポーターになって私たちの活動を継続的に支えてくださいますよう、お願い申し上げます。

〔今回のみのご寄付〕

銀行振込・郵便振替によるご寄付

ご寄付をお振込みの際は、ホームページの寄付申込フォームでお名前・ご住所をご連絡ください。

●ゆうちょ銀行

〇一九(ゼロイチキュー)店 当座 0152781

NPO 法人しんぐるまざあずふぉーらむ

*振込人名の頭に「キフ」とつけてください。

●三菱 UFJ 銀行

高田馬場駅前支店 普通 4536336

特定非営利活動法人しんぐるまざあずふぉーらむ

*振込人名の頭に「キフ」とつけてください。

●郵便振替口座

00170-4-152781

NPO 法人しんぐるまざあずふぉーらむ

*振込人名の頭に「寄付」とつけてください。

〔継続的なご寄付〕

「マンスリーサポーター」になっていただけませんか？

●クレジットカードによるご寄付

マンスリーサポーター：月 1000 円・3000 円

年間サポーター：一口 5000 円から

一回だけの寄付も受付けています。

●ゆうちょ銀行の自動振込によるご寄付

毎月一定額をゆうちょ銀行の自動払込により、継続的にご寄付いただけます。

金額は毎月 1000 円から自由に設定いただけます。

上記いずれもホームページよりお申込みください。

<https://www.single-mama.com/donation/>



当法人は東京都より認定特定非営利活動法人として認定を受けております。
当法人へのご寄付は寄付金控除の対象となります。

だいじょうぶだよ！基金

コロナで苦しむひとり親家庭の
親子を応援するために
皆様のお力をお貸しください！

●郵便振替

記号番号 00160-9-588541

しんぐるまざあずふぉーらむだいじ基金口

●ゆうちょ銀行

〇一九(019)店 当座 588541

しんぐるまざあずふぉーらむだいじききんぐち

●三菱 UFJ 銀行

高田馬場支店 普通 1931249

特定非営利活動法人しんぐるまざあずふぉーらむ

認定 NPO 法人しんぐるまざあずふぉーらむ

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-8-9 ニューシティハイツ飯田橋 402

TEL:03-3263-1519 FAX:03-3239-6590 E-mail: info@single-mama.com

